

名古屋市からの情報提供

令和5年6月28日

土岐川・庄内川流域治水協議会



みんなでまもる土岐川・庄内川



「流域治水」の深化に向けた取り組み状況

名古屋市



土岐川・庄内川流域治水調査員自由研究入賞者
名古屋市長へ入賞を報告(4月19日)



名古屋市公式noteに内容を掲載
(5月30日)



名古屋市役所、イオンでのパネル展



名古屋市役所 西庁舎2階(5/29~6/1)



イオンタウン千種(5/30)

「広報なごや(6月号)」において流域治水の特集を組み110万世帯に配布

広報なごや

Nagoya News
令和5年(2023年) 6月号

名古屋市
SDGs未来都市

No. 906

人口 / 2,325,294人
世帯 / 1,162,811世帯
面積 / 326.50km²
(令和5年5月1日現在)

「ぜひ読んで!」
今月の特集
みんなで取り組もう! 「流域治水」

流域治水とは?
川の上流の自治体、名古屋市、市民の皆さまと、流域全体のあらゆる関係者が協働で水害対策を行うこと

被害を軽くして早期復旧するには?

住まい方の工夫で被害を減らすには?

平成12年9月東海豪雨(北区の状況)

川からあふれる水を減らすには?

新型コロナウイルス感染症について

- 発熱などの症状がある方で、重症化リスクが高い方*や小学生以下の方はかかりつけ医にご連絡ください。
*重症化リスクが高い方は、65歳以上の方、基礎疾患のある方、肥満(BMIが30以上)の方、妊婦の方です。
- 相談する医療機関に迷う場合や療養後も続く症状(いわゆる後遺症)の相談は、受診・相談センター(コールセンター)にご連絡ください。
☎ 050-3614-0741 (24時間受付) FAX 050-8882-9703 nagoya_jyushinsoudan@medi-staffs.jp
- 電話番号のお掛け間違いが発生しています。電話番号をよくお確かめのうえ、お掛け間違いのないようにお願いします。
- 新型コロナウイルス感染症は5/8から5類感染症に変更となりましたが、しばらくの間はこの面掲載していきます。

市ウェブサイトはこちら

市政に関するお問い合わせは
名古屋おしえてダイヤル ☎052-953-7584 午前9時~午後9時 年中無休
☎052-971-4894 ☎7584@oshiete-dial.jp

よくある質問はホームページか市公式LINEへ

今月の特集 みんなで取り組もう! 流域治水

市長からのコメント
だれもがうちは大丈夫だと思ってる。油断。これがあるから、大雨になることがわかったら、安全なところへ逃げないかんよ! みんなで取り組んで、みんなが被害を減らしていこうよ!
名古屋市長 河村たかし

近年頻発する集中豪雨や台風による大雨被害。これまで比べて雨の降り方が激しくなっており、全国で毎年のように大規模な浸水被害が起きています。被害を減らすためにみんなで流域治水に取り組まましょう。

流域治水ってなに?
川の上流の自治体、名古屋市、市民の皆さまと、流域全体のあらゆる関係者が協働で水害対策を行うこと

流域治水を進めるための3つの柱

- 氾濫を防ぐ・減らす
- 被害対象を減らす
- 被害を軽くして早期復旧

近年の大雨被害(市内)

降雨日	60分最大雨量(mm)	浸水被害(市内)	
		市内(地点)	床上浸水(人) / 床上浸水(棟)
平成12年9月 東海豪雨	105.5	緑土木事務所	9,818 / 21,852
平成20年8月末 豪雨	113.0	北土木事務所	1,175 / 9,929
平成23年9月 台風15号	79.5	東谷山(守山区)	61 / 317
平成25年9月4日	111.0	打出(守山区)	251 / 4,975
令和2年9月4日	96.5	港土木事務所	23 / 117

平成25年9月4日 名古屋駅前の様子

主な市の取り組み

- 川の工事** (氾濫を防ぐ・減らす)
安全に川の水が流れるように、川幅を広げたり川底を掘ったりしています。
- まち中の対策** (氾濫を防ぐ・減らす)
まちに降った雨を一時的に貯めるための施設を造ったり、川に排水するための雨水ポンプを強化したりしています。
- 市民の皆さまにお願いしたいこと**
雨水タンクや浸透雨水ますを設置したり、庭の緑化にご協力ください (氾濫を防ぐ・減らす)
- 監視情報システムなどで情報を収集しよう** (被害を軽くして早期復旧)
災害リスクや災害時の河川の水位状況などを見て、適切な避難行動をとれるようにしましょう。

まちづくりに関する防災指針(PDF)はこちら

東海豪雨など過去の災害を忘れず、市民の皆さま一人一人が取り組むことが大切

平成12年9月11日の夕方、雨が強く降り、外ローラーを開始しました。マンホールから水が噴水のように噴き出し、瞬時に腰高まで浸水。東海豪雨です。私たちは日々大雨の被害を減らすための取り組みを行っています。行政の取り組みだけで被害をゼロにするには限界があります。雨水タンクの設置や防災情報の確認など、ごご家庭でも流域治水について考え、取り組んでいくことが必要です。

入賞者の松本 泰志さん
入賞者の伊藤 奈波さん

入賞作品や今年度の募集、報告の様子は、市公式noteでご覧いただけます。
市公式noteはこちら

土岐川・庄内川流域治水調査員自由研究入賞者の小学生が受賞や日頃の災害対策について市長に報告しました!

川が氾濫したら、すぐ逃げられるように防災グッズなどを用意しています。

日ごろからの周りの危険場所や頑丈な建物を確認しています。

入賞者の松本 泰志さん
入賞者の伊藤 奈波さん

入賞作品や今年度の募集、報告の様子は、市公式noteでご覧いただけます。
市公式noteはこちら

問合せ 緑政土木局河川計画課 ☎972-2864 FAX972-4193

更なる広報と教育分野への展開を目指す